

時間割コード	Q6003903	開講年度	2026				
授業題目	介護等体験の意義と実際【第6欄】					担当教員	横嶋 敬行
英文授業名	Lecture on care experiences for person with handicap						
単位数	1	講義期間	前期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生	L, S, T, A, F
講義室				授業形態	講義	遠隔授業科目	
備考							
信大コンベンション	該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	・ 授業計画に沿った講義を受けることによって課題意識を深める。 ・ 適宜、グループディスカッションを行う。 ・ 特別支援学校での教諭経験のある教員が、具体的な事例を紹介しながら特別支援学校での教育や介護が必要な人に対する介護の基本的方法などを指導する。						
(5)授業のキーワード	介護等体験，特別支援学校，社会福祉						
(6)授業計画	第1回：ガイダンス／介護等体験と意義・体験の概要 第2回：人間の障害をどう理解するか 第3回：介護等体験で出会う主な障害（視覚障害・聴覚障害・知的障害・肢体不自由・病弱身体虚弱） 第4回：介護等体験で出会う主な障害（発達障害・情緒障害・認知症など） 第5回：社会福祉に関する基礎的な事柄 第6回：障害のある子供の教育 第7回：体験活動の実際 第8回：まとめ（今後の課題），授業アンケート（最後の15分で実施）						
(7)成績評価の方法	授業中に示す課題への取り組み（50%）と社会福祉および特別支援学校に関するレポート（50%）で評価する。						
(8)成績評価の基準	授業のねらいに応じて、介護等体験の意義、社会福祉および特別支援教育についての基本的知識の修得、実施上の心構えや諸準備等について事前に理解することができたか、および各自の体験活動が教育実習をはじめとした今後の教職に関する学習にどのように生かそうと考えたかについて、その修得状況によって、「その水準にある」「やや上にある」「かなり上にある」「卓越している」と評価する。						
(9)事前事後学習の内容	・ 体験活動における個別の目標を設定すること。 ・ 人間にとって健康で文化的な生活とは何かについてまとめること。 ・ 単なる知識やスキルの習得ではなく、体験活動の本質的な意義について考えながら学習を進める。 ・ 障害者や高齢者の差別について、人権の視点から考える。 ※この授業は、30時間以上の時間外学習が必要となります。						
(10)履修上の注意	・ この科目は、2019年度～2022年度の入学生で、中学校教員免許状取得を希望する者は必修となる。これ以外入学生は受講することができない。						
(11)質問、相談への対応	質問・相談はメールで受け付ける（t_yoko@shinshu-u.ac.jp）。						
(12)授業への出席	本授業は「信州大学における授業の出席に関する要項」第4に規定する「学修の補充の対象とする事由」で欠席し、補充を受けた場合を含み、欠席回数が3回以上になると、授業の達成目標に到達することができないため単位が認定されません。						
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	「学修の補充の対象とする事由」により出席できない場合は、共通教育履修案内に掲載されている方法により補充を受けるための申請をおこなってください。						
【教科書】	なし						
【参考書】	藤井善章／小山茂喜 編著「教育実習・介護等体験 安心ハンドブック」学事出版（2026） その他、授業の中で適宜紹介する。						